



第73回福島県総合体育大会 アイスホッケー競技会大会要項

- 1 趣 旨 福島県総合体育大会は、県民総参加の体育大会を通してスポーツに親しみ、スポーツ精神の高揚に努め、健康増進と体力の向上を図り本県スポーツの振興と文化の発展に寄与するとともに、県民生活をより明るく豊にしようとするものである。
- 2 主 催 福島県体育協会 福島県教育委員会 福島県スポーツ少年団
福島県高等学校体育連盟 福島県体育指導委員連絡協議会
福島県スポーツ指導者競技会 郡山市教育委員会
- 3 主 管 福島県アイスホッケー連盟 郡山市アイスホッケー協会
- 4 期 日 令和 2年10月24日（土）・25日（日）
- 5 会 場 福島県郡山市磐梯熱海アイスアリーナ
- 6 競技区分 第73回福島県総合体育大会
第47回東北総合体育大会選手選考会
第76回国民体育大会選手選考会
- 7 競技種別 成年の部・少年の部
- 8 競技上の規定及び方法
 - (1) 競技規定 日本アイスホッケー連盟競技規則による。
ただしキーパー防具に関しては、県ローカルルールを適用する事とする。
 - (2) 競技方法
 - ① 各ピリオド正味15分とし、インターバルは10分とする。
試合時間は最大2時間とする。（中間ザンボニー含む）
 - ② 練習は7分間とする。（試合終了後すみやかに）
 - ③ 製氷は第2ピリオド終了後と次試合練習終了後行う。（両日の第1試合目練習後は除く）
 - ④ 第3ピリオド終了時点で同点の場合は、各チーム3名によるゲームウィニングショットを行う。
 - ⑤ 試合方法はリーグ戦により実施
 - ⑥ 出場チームは統一ユニフォームとする。
ただし、チーム事情により統一できない場合は代表者会議時に申出ること。
措置：チーム単位でベスト着用。

- ⑦ 試合開始時点（リンク整列時）で、出場選手が6名以上（プレーヤーで構成でも構わない）に達しない場合、試合は遂行されるが没収試合とする。
この際のスコアは「15：0」となる。

- 9 参加資格 令和元年度福島県アイスホッケー連盟に登録してある者。
（チーム登録料・個人登録料及び県総体参加料の納入が済んでいること）
各チームでスポーツ傷害保険に加入していること。

- 10 表彰 第1位～第3位までのチームに表彰状。

- 11 参加申込 規定の用紙に記入しメールで提出すること。

- 12 申込先 E-mail kidawara.fumiaki@fcs.ed.jp
※必ず Excel データで送信する

- 13 申込締切 令和 2年10月12日（月）必着

- 14 参加料 一人 3,000円×人数分
令和 2年10月12日（月）までに下記へ入金してください。
銀行名 東邦銀行 郡山営業部
口座番号 普通 1816283
名義人 福島県アイスホッケー連盟
会長 佐藤 憲保

- 15 新型コロナ感染防止対策

- ①所管保健所の疫学的調査において選手、スタッフ本人の感染が確認されている場合、あるいは感染が疑われPCR検査等の検査中の場合は、当該選手、スタッフの競技会への参加・競技会場への入場を認めない。
- ②競技会開始日から過去14日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある選手、スタッフの競技会への参加・競技会場への入場を認めない。
- ③何らかの症状・体調不良（37.5度以上の発熱、咳、倦怠感、味覚異常等）がある選手、スタッフの参加・競技会場への入場は認めない。
- ④参加選手、スタッフ、大会役員は、競技開始日2週間前から健康観察を行い、7日前から別紙様式1「体調管理チェックシート」に記録する。カテゴリー事務局においては競技会開始日に全参加選手、スタッフ、大会役員のチェックシートを提出すること。

⑤上記に加え競技会期間中、チームに対し試合ごとに別紙様式2「ゲーム当日体調チェック観察票」を提出すること。

○基本的な感染防止措置の徹底

・入退館時の際のマスク着用、手洗いや手指消毒液による消毒を指導する。消毒液については、各個人で準備し対応出来ないことを念頭に、各カテゴリー・チームでも準備をする。

・大きな声での会話、応援、声出し等を制限する。・プレーヤーズベンチ内のスタッフ・役員はマスク着用を義務付ける。

・ベンチ入りしないメンバーはマスクを着用し十分な距離をとって観戦する。

・ボトルやタオルなどのチーム共有物は、チーム管理から個人所有の物に変更する。

・ホワイトボードやマーカーについては、個人所有の物を使用する。

・栄養補助食品、副食などは大皿での提供は避け、一人分を小分けに取り分けて提供する。

・氷上に唾や痰をはくこと、飲みきれなかったスポーツドリンク等を氷上に廃棄することは厳禁とする。

○選手控室、プレーヤーズベンチの使用にあたっての注意事項

・控室を長時間使用したミーティングは行わない等、使用する時間を極力短時間とすること。

・ゴミについては、個人で持ち帰り自宅にて処分をする。

※競技会においての控室やプレーヤーズベンチの使用については、競技会場が定めた注意事項を遵守し、清掃・消毒の実施方法等についてあらかじめ管理者と協議しておく。

○レフェリー委員会との調整事項

・ゲーム開始時の用具チェック・挨拶、プレーデット時のパックの取り扱いその他、既存のルールに規定がない注意事項についてあらかじめ確認のうえ、各チームに通達し徹底を図る。